



必要だったのは、
一台で完結して、簡単に使用できる製品

TMEiC
We drive industry

株式会社TMEIC

4台のi+hubを導入された、株式会社TMEIC。

導入の経緯やi+hubの利用の浸透状況について、府中事業所に勤務する水澤様にお話を伺いました。

課題

» 会議の準備に時間がかかり、リモコンの誤作動が発生

i+hubを導入するまで使用していたプロジェクターの場合、会議の準備に10分以上かかっていました。また、リモコン操作時に、別の部屋に設置しているプロジェクターまでもが反応してしまうことがありました。さらに、会議で必要となるスピーカーやマイクを別途用意しなければなりませんでした。

そこで、カメラ、マイク、スピーカーが内蔵され、一台で完結するインタラクティブホワイトボードを探していました。

解決策 誰でも画面を投影でき、コストパフォーマンスに優れたi+hubの導入

弊社は、職員の年齢層の幅が広いこともあり、誰でもすぐに画面を投影できるシンプルで簡単に使用できる製品を探していました。

i+hubは、ワイヤレスドングルを使用して、画面をすぐに投影できるので、年齢を問わず誰もが使える製品である点が大きかったです。また、予算が限られている中、同様の機能を提供する他の製品はオプション品が別売りになっているものが多く、価格面で予算に収まらないものが大半でした。つまり、コストの面でもi+hubは導入しやすかったのです。

インタラクティブホワイトボードの導入にあたって、さまざまな製品を検討していたのですが、今後、会議室のソリューションはより高額でハイエンドな製品と、i+hubのように必要な機能に特化した製品とに二極化していくのではないのでしょうか。そのなかで、i+hubはコストパフォーマンスに優れているのではないかと考えています。

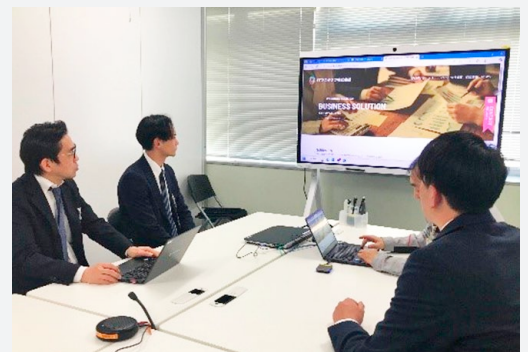
セキュリティポリシーにも対応 ネットワーク接続が不要なi+hub

弊社は厳格なセキュリティポリシーが定められています。そのため、ネットワークに接続しないで使用できる点も、インタラクティブホワイトボードの導入における重要な選定ポイントでした。ちなみに、私どもの部署ではi+hubを4台導入したのですが、設置作業が短時間で終わり、すぐに使えるようになったこともありがたかったです。

i+hubの 利用状況と今後の期待

現在は4台のi+hubをそれぞれ4つの部屋に1台ずつ導入し、ドングルを使用して会議を行っています。スピーカーやマイクは不要となり、自分のPCを持っていくだけで良くなったので、社内でi+hubの利用がどんどん浸透していけば良いと思っています。

実際、他の部署からもi+hubを導入してほしいとの声が上がっています。リモコンの誤作動もありませんし、余計な配線が無いので、机やパーテーションの配置に応じて会議室の中で動かしやすいことも助かっています。アイスブレイクの機能も、いずれ新人向けの研修などで使ってみたいと思っています。



株式会社 TMEIC

【業種】製造業 【利用シーン】社内会議

【企業概要】製造業プラント向けを主体とした産業システム・電機品の販売、エンジニアリング及び工事・サービス並びに製造業向け監視制御システム、パワーエレクトロニクス機器および回転機（大容量モーター等）の開発・製造を行う。 ※販売店：IT プロダクツ株式会社



iguazu

株式会社イグアズ

ビジネス開発本部 戦略システム開発部



ihub@i-guazu.co.jp



<https://www.i-guazu.co.jp/lp/ihub>